

清水南道場 道場だより 『雨のち晴れ』

2013年11月10日(日)

2013年11月10日午前中 天候は雨

不二見まつりの会場に着いたとき、天候は天気予報通りの雨。足元は土のグラウンド。その中で、我々の前の出し物、清水エスパルス応援団「オレンジウェーブ」によるダンスが行われていました。女性が雨にも負けず踊ってました。極真空手が負けるわけにはいかない！！

よしっ！！と気合いを入れ直し、清水南道場、レオリブレ道場の生徒35名による演武、基本稽古の抜粋、移動稽古(5本蹴りなど)、型、組手、試し割りを行いました。



演武の最後に私も型、試割りをやらせていただき、次のようにお礼などを述べました。

『今日は極真会館 大石道場の演武をご覧いただき、ありがとうございました。

我々極真会館では稽古の終わりに道場訓を全員で言います。

その中に「生涯の修業を空手の道に通じ、」という言葉があります。

武道は若い頃だけのものではなく、生涯を通じ行うことができ、やり続けることにより、様々なことを学ぶことができます。

それは、単純に体の動かし方だけではなく、相手に対する接し方、相手のことを思いやる心を養うことです。

先ほど見ていただいたように、極真空手は直接相手の体を叩きます。相手からも叩かれます。

痛みを与えてしまう場合もあれば、自分を痛める場合もあります。

決して、過保護な武道ではありません。

相手から殴られ、蹴られ、痛くて泣いてしまったら、相手を恨むのではなく、弱い自分をもっと鍛えろ！と教えています。

周りの人たちより、もっともっと強くなれと教えています。もっともっと差をつけてしまえ、と教えています。

その強さから余裕ができ、周りの人たちにやさしくなれると思います。

自分の経験からも、いろいろなところで仕事をし、様々な人たちと話をしていく場合、やはり心に余裕があったほうがいいと思います。相手に対して、怒鳴ったり、威張ったり、睨んだり、することは失礼ですし、そんな必要はありません。そのような人には、誰もついてこないと思います。

そのような精神修業を、空手の稽古を通じて養っています。』

終了後、参加してくれた道場生に言いました。

『今日の演武は、まつりの主催者から依頼され、わかりましたと返事をして引き受けました。受けたからには、大雨だろうが、台風だろうが、主催者から中止です、と言われない限りやり遂げるのが大石道場であり、引き受けた人の責任というものです。それを決して忘れないように。』



2013年11月10日夕刻 天候は晴れ

新築の日本平ホテルに着いた時には、午前中の雨が嘘のように晴れ間になってきました。これから清水南場生の稲葉徹司 5 級の結婚式です。道場の代表として、私と青木武段、畠山 4 級が招待されました。

杉本参段による乾杯の音頭とともに、華やかな披露宴が始まりました。それよりも華やかなのが青木武段の和服姿です。和服と言っても道着ではなく、着物です。強さが際立つ空手着もいいですが、美しさが際立つ着物も一際いいです。



披露宴の終盤に演武を頼まれているので、お酒は控え目にと考えていましたが、勧められるとそうもいかず……。

演武は清水南道場生 24 名(一般 4 名、少年部 20 名)による、連続試割り、正拳で 8 名、手刀で 8 名、前蹴りで 8 名、交代で行いました。



その最後は新郎：稲葉徹司 5級の回し蹴りによる試割りです。板には新婦からの願い事「寝酒禁止」の文字が。見事に割って、締めてもらいました。



参加の道場生は幸せな式に参加でき、大変喜んでいました。見ていた列席の人たちも、「大変、感動しました。」と言ってくれました。皆、いい経験になったと思います。



雨中の演武。顔から、道着まで泥だらけになって、我慢して、我慢してやり遂げたこと。
雨から一転、すがすがしい晴れ間の中でのお祝いの席。そこで演武できたこと。
今日のこの日は決して忘れることのない日になったと思います。
終日参加してくれた道場生たちに感謝。

PS. すべての日程から解放され、夜景の素晴らしいホテル最上階のバーラウンジへ。あまりにも声が大きいのので、他のお客さんは皆さん退席してしまいました。青木式段から『杉本先生は日本一ラウンジと夜景が似合わない男』と、命名されてしまいました。反省。

押忍

清水南道場 杉本龍哉(参段)